

# NERC 30周年記念パネル展の開催

設立30年記念 長崎県の長大橋梁写真展開催について

NERCは良質な社会資本の整備と維持管理への支援を通じて本県建設事業の振興発展に寄与することを目的に1994年に設立され今年30年になります。この間、県内唯一の建設系公益法人として「社会資本整備支援事業」「社会資本維持管理支援事業」「研修事業」「試験調査事業」「研究開発事業」等を行ってきました。

「社会資本維持管理支援事業」のうち長崎県橋梁点検業務は、県が管理する橋梁の点検を支援する業務ですが、特に「西海橋」「平戸大橋」「生月大橋」「若松大橋」「大島大橋」「鷹島肥前大橋」「伊王島大橋」などの長大橋梁は重点管理橋梁として、毎年NERCの職員が点検、結果整理、登録等を行っています。

また長崎県橋梁維持管理システムの管理、登録も行っており、前述の長大橋梁の工事図書の整理登録等も実施してきました。この中には、建設工事の記録ビデオや貴重な図面、写真等も含まれています。

NERC設立30周年の記念として、長大橋梁建設時の貴重な資料を展示し、今後の本県建設事業を担う人々に長大橋梁建設はもちろん、維持管理に興味をもってほしいとの思いから写真展を開催することになりました。

第一弾は、来年建設70年となる「西海橋」です。70年前の写真はもちろん白黒です。白黒の写真も年代を感じられ良いのですが、今回はAIを利用してカラー化してみました。現実の色とは違う部分もありますが、AIの現状として楽しんでください。

今後、順次、平戸大橋、大島大橋、鷹島肥前大橋などの写真展開催を予定していますので、ご期待ください。

NERCが長大橋梁の維持管理などを通じ、本県建設事業の発展に貢献していくことを祈念して、NERC設立30周年記念「長崎県の長大橋梁写真展」開催のあいさついたします。



令和6年10月  
理事長 有吉 正敏



## 第1回 西海橋 展示の一部を紹介します！

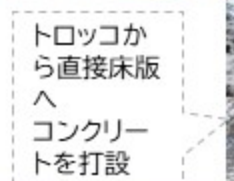
### A | 利用による白黒写真のカラー化



### 西海橋ができるまで



ケーブルクレーン工法によるアーチの架設



トロッコから直接床版へコンクリートを打設



アーチクレーン架設(記念写真)

### NERC職員 小川健の研究『針尾無線塔はどのように造られたのか』



『針尾無線塔』大正期の完成から100年を経ても丈夫なのはなぜか——。研究成果を長崎大学に提出し、工学研究科教授会にて「合格」証書を授与されました。2023.8.18読売新聞にも掲載されました。



小川 健  
1948-2023

NERC本館1階に展示しています。最寄りの際はぜひご覧ください！